



2014年度
中間決算の概況と
通期の業績予想

2014年10月31日



目次

2014年度中間決算のポイント	2
連結損益計算書	3
連結売上高と利益推移	4
連結貸借対照表	5
連結キャッシュフロー	6
連結セグメント別業績(中間期)	7
連結セグメント別業績推移	8
連結業績予想	9

2014年度中間決算のポイント

- ▶ 円安の進行に伴う輸出環境の好転や復興需要などを背景に、主要需要家である自動車、造船、建設機械向けなどが堅調に推移し、連結売上高・経常利益・当期純利益が増加

・売上高	4,265億円	(前年同期比	+143億円、3.5%増)	
・経常利益	30億円	(//	+ 8億円、35.3%増)
・当期純利益	20億円	(//	+ 10億円、97.3%増)

- ▶ 自己資本比率は15.5%(前年度末実績 15.2%)

- ▶ 配当

中間 3円/株、年間 6円/株予定
(前年度実績 中間 3円/株、年間 6円/株)

連結損益計算書

(単位:億円)

	13年上期	14年上期	増減額	増減率
売上高 (4/28 公表値)	4,122	4,265 (4,600)	① 143	3.5 %
売上総利益	113	124	12	
販売管理費	△88	△94	② △6	
営業利益 (4/28 公表値)	25	30 (28)	6	22.1 %
営業外損益	△3	△0	③ 2	
経常利益 (4/28 公表値)	22	30 (25)	8	35.3 %
特別損益	△1	4	④ 5	
法人税等	△11	△14	△3	
当期純利益 (4/28 公表値)	10	20 (16)	10	97.3 %
1株当たり当期純利益	11.36 円	22.42 円		
1株当たり配当金	3.0 円	3.0 円		

①売上高

単体

+ 67

・鉄鋼 + 40

・鉄鋼原料 △114

・非鉄金属 + 70

・機械・情報 + 50

・溶材 + 24

・調整等 △ 3

海外子会社 + 64

(中国+26、アジア+23、アメリカ+13、他+2)

国内子会社 + 21

連結調整 △ 9

計 +143

②販売管理費

人件費の増加、連結子会社の経費増 他

③営業外損益

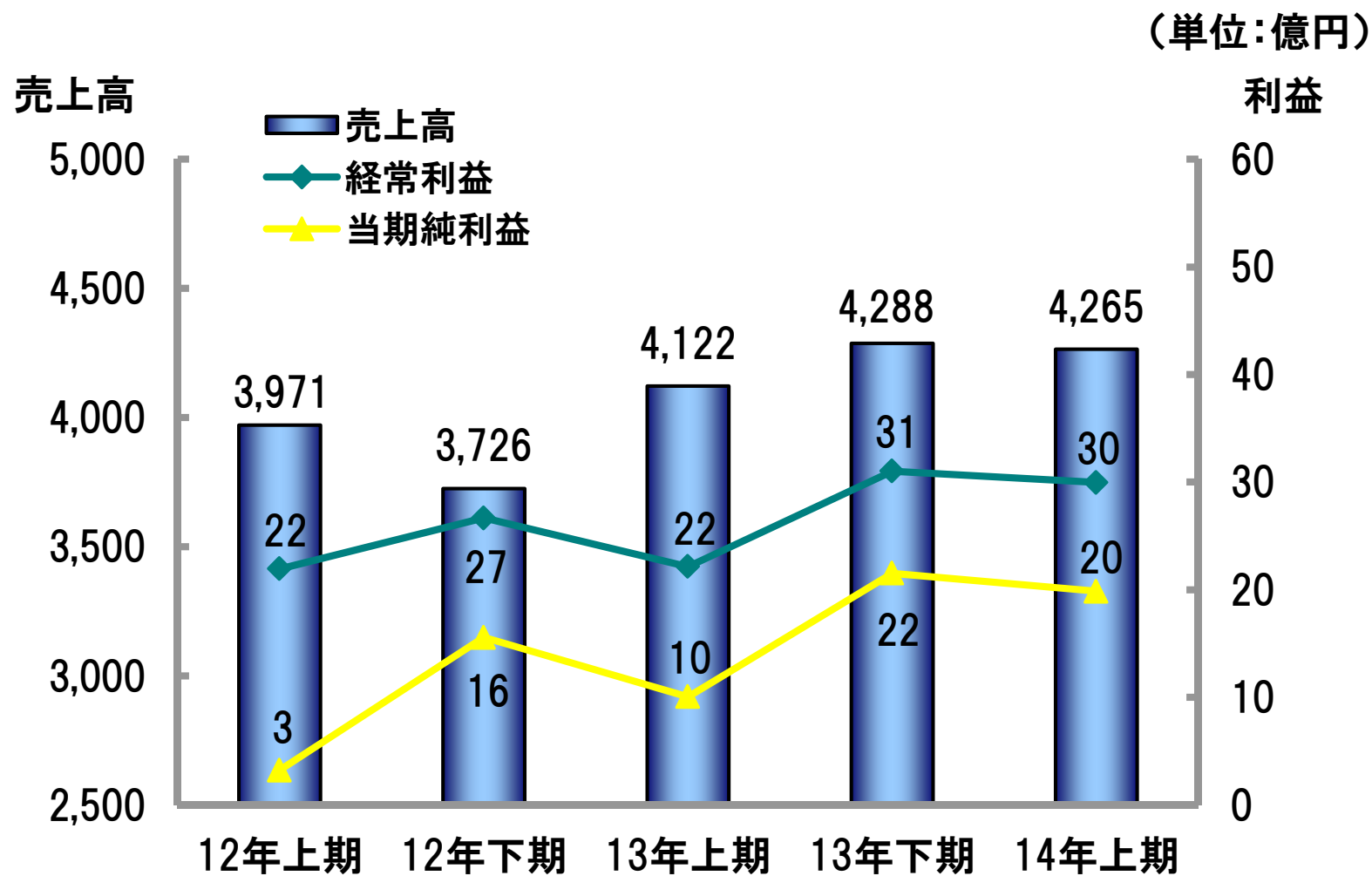
為替差益 +2

④特別損益

13上期 出資金評価損 △1

14上期 固定資産(土地)売却益 +4

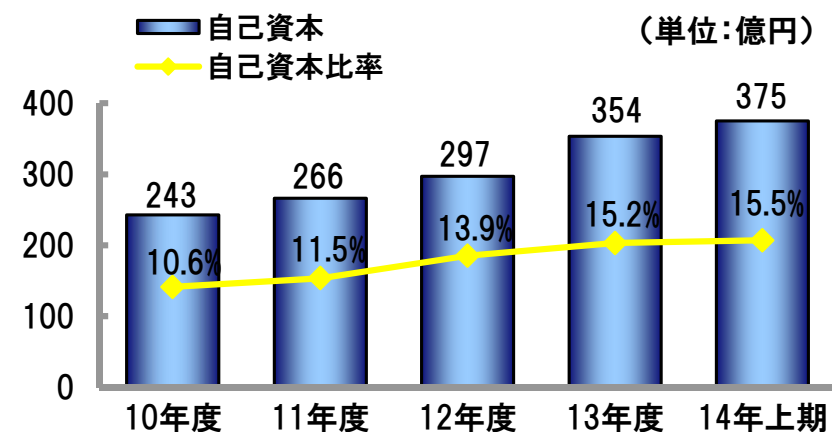
連結売上高と利益推移



連結貸借対照表

(単位:億円)

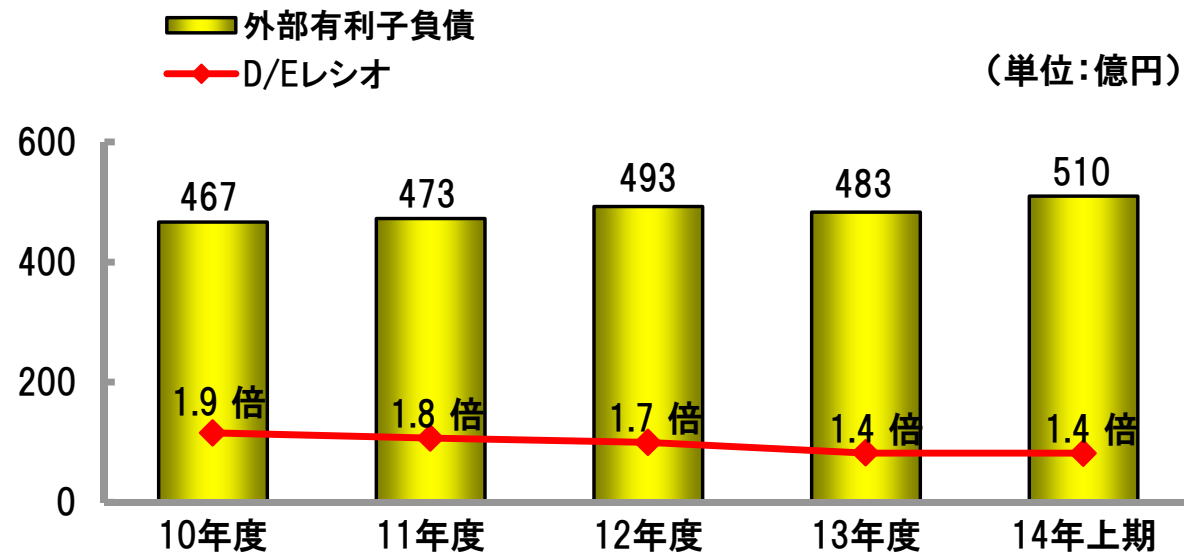
	13年度	14年上期	増減額	増減の概要
流動資産	1,945	2,028	83	売上債権増 +66、現預金増 +21 他
固定資産	378	389	10	
〔有形・無形固定資産	82	75	△7	土地 △3、建屋・設備 △3 他
投資その他の資産	296	314	17	投資有価証券・出資金 +17
資産合計	2,323	2,417	94	
流動負債	1,649	1,731	82	仕入債務増 +20、短期借入金 +49 他
固定負債	298	281	△17	長期借入金 △23 他
負債合計	1,948	2,013	65	
自己資本	354	375	21	利益剰余金 +17、評価・換算差額等 +4
少数株主持分	22	29	8	
純資産	375	404	29	
外部有利子負債	483	510	26	
自己資本比率	15.2%	15.5%	0.3%	
D/Eレシオ	1.4倍	1.4倍	△0.0倍	
1株当たり純資産	399.5円	423.6円		



連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

	13年上期	14年上期	増減額
営業活動によるCF	△15	△10	+5
投資活動によるCF	△24	△2	+22
フリーキャッシュフロー	△39	△12	+27
財務活動によるCF	△2	+34	+36
総合キャッシュフロー	△41	+23	+63



連結セグメント別業績(中間期)

(単位:億円)

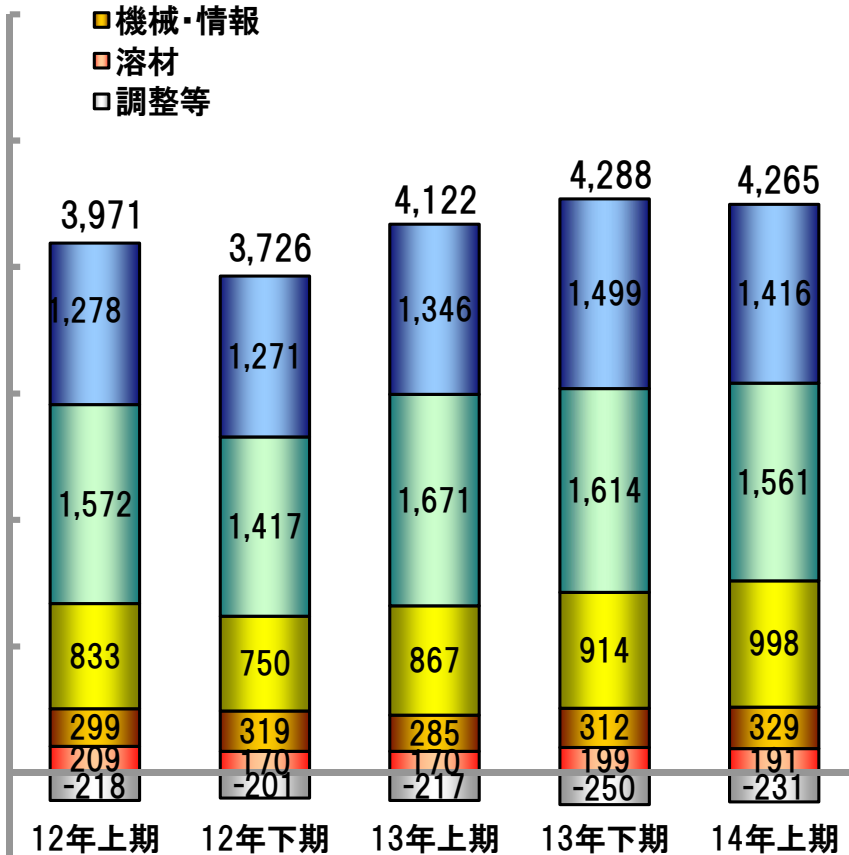
		13上期	14上期	増減額	増減率	売上高の状況
鉄鋼	売上高	1,346	1,416	70	5.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●鋼板：取扱量は国内微減、海外は減少となったが、価格は上昇 ●線材：取扱量は国内外ともに微減となったが、価格は上昇 ◆14年度上期取扱量(単体) 104万トﾝ (前年同期比 △7.4万トﾝ 内、国内△2.0万トﾝ、貿易△5.4万トﾝ)
	セグメント利益	14	16	2	11.8%	
鉄鋼原料	売上高	1,671	1,561	△110	△6.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料：主原料の取扱量は増加したが、価格下落により減少 ●冷鉄源：取扱量が増加し、価格も上昇 ●チタン原料：取扱量が減少し、価格も下落
	セグメント利益	5	4	△1	△15.0%	
非鉄金属	売上高	867	998	131	15.1%	<ul style="list-style-type: none"> ●銅製品：自動車端子用板条は堅調、半導体向けリードフレームの取扱量が増加 ●アルミ製品：自動車向け部材、鉄道車両用押出材、輸出用缶材の取扱量が増加 ●非鉄原料：アルミ地金およびアルミスクラップの取扱量が増加
	セグメント利益	3	6	3	100.2%	
機械・情報	売上高	285	329	44	15.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●機械製品：大型圧縮機等の取扱いは減少したが、製鉄関連資機材、建設機械用輸入部材の取扱いが増加 ●情報産業関連：太陽電池関連資材、液晶用電子材料等の取扱いが増加
	セグメント利益	△1	2	3	—	
溶材	売上高	170	191	21	12.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●溶接材料：造船、建築鉄骨、化工機向けの取扱量が増加し、中国向け輸出も増加 ●溶接関連機器：国内造船業界向けの取扱いが減少 ●生産材料：取扱量が増加
	セグメント利益	1	2	1	270.5%	
調整等	売上高	△217	△231	△14	—	
	セグメント利益	1	△0	△1	△109.8%	
連結	売上高	4,122	4,265	143	3.5%	
	経常利益	22	30	8	35.3%	

連結セグメント別業績推移

売上高

- 鉄鋼
- 鉄鋼原料
- 非鉄金属
- 機械・情報
- 溶材
- 調整等

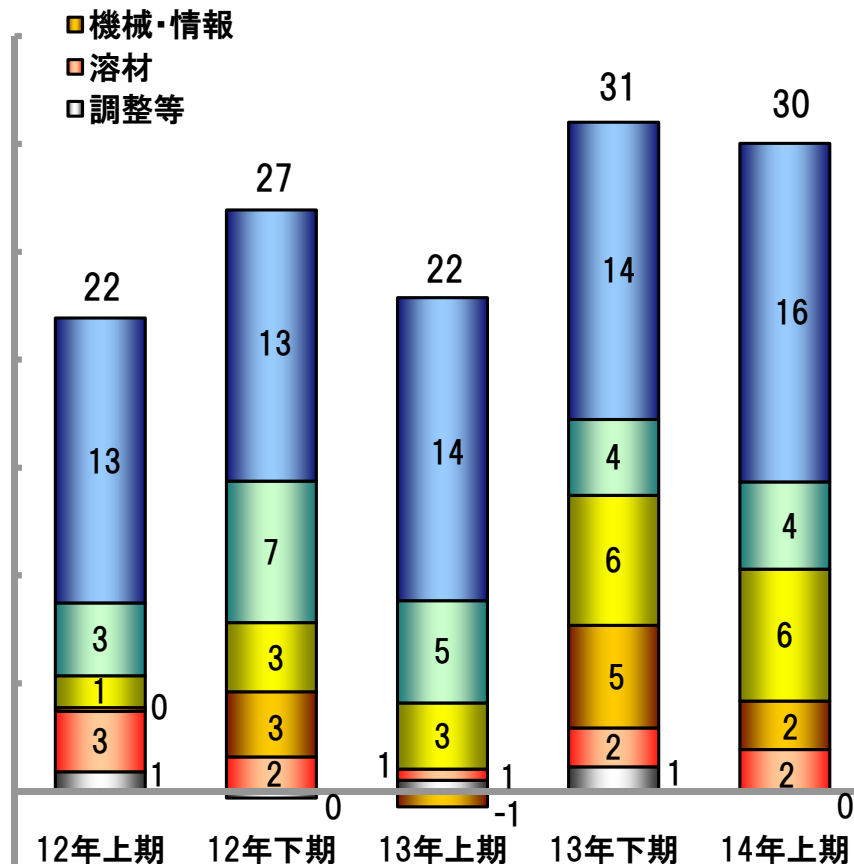
(単位:億円)



経常(セグメント)利益

- 鉄鋼
- 鉄鋼原料
- 非鉄金属
- 機械・情報
- 溶材
- 調整等

(単位:億円)



連結業績予想

(単位:億円)	13年度	14年度予想	増減額	増減率
売上高	8,409	9,400	991	11.8 %
営業利益	57	70	13	22.0 %
経常利益	53	64	11	20.3 %
当期純利益	32	40	8	26.6 %
1株当たり当期純利益	35.69 円	45.17 円		
1株当たり配当金	(中間3.0円) 6.0 円	(中間3.0円) 6.0 円		
配当性向	16.8 %	13.3 %		

14年度予想は、4/28発表の業績予想から変更ありません。

◆セグメント別

(単位:億円)	13年度		14年度予想		増減額	
	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)
鉄鋼	2,845	28	3,080	31	235	3
鉄鋼原料	3,285	8	3,520	12	235	4
非鉄金属	1,781	9	2,140	10	359	1
機械・情報	597	4	740	7	143	3
溶材	369	2	440	6	71	4
連結	8,409	53	9,400	64	991	11

※ 調整額等の数値は表記してありません。

ご清聴ありがとうございました



(注)2014年度の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。